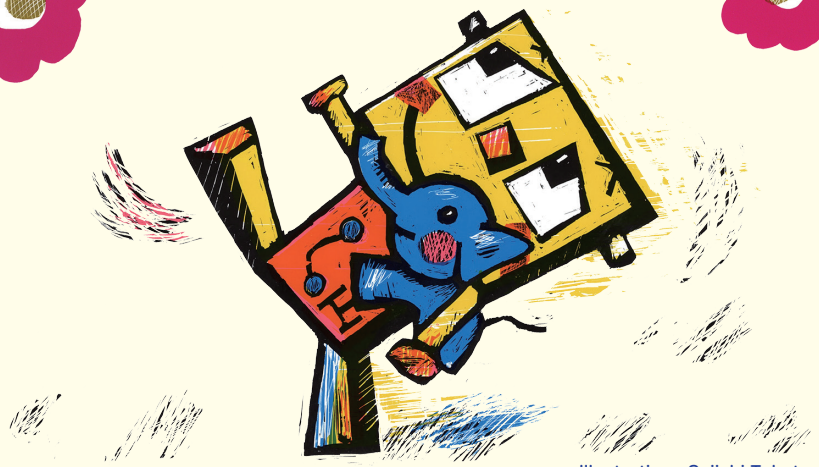
紙芝居文化の会

第２回

紙芝居ゼミナール



Illustration・Seiichi Tabata

作品の理解をきわめることは
演じる時の力になります

実演・発表中心

「紙芝居の魅力」を理論的に伝えられ、地域の中核になれる人を養成する講座です。参加者は、毎回全員１作を実演し、その作品について発表し全員で話し合います。皆さんと共に充実した講座を創りましょう。

●講師

酒井京子（紙芝居文化の会 代表、童心社会長）
上原佐恵子（紙芝居文化の会 運営委員、しずおか紙芝居研究会主宰）
道山由美（紙芝居文化の会 運営委員・事務局、豊田市こども図書室司書）

●日程・場所

日時：6/9、7/21、9/22、12/15（日）
13:00～17:00
場所：童心社 KAMISHIBAI HALL
東京都文京区千石 4-6-6

●定員・受講料（全４回）

定員：８名（紙芝居文化の会 会員）
受講料：52,000 円
条件：東京や各地での連続講座を受講済みのこと

The International Kamishibai Association of Japan
IKAJA
紙芝居文化の会（事務局）
〒181-0001 東京都三鷹市井の頭 3-32-15-1F 寺小屋内 TEL&FAX.0422-49-8990
Email: kamishibai@ybb.ne.jp https://www.kamishibai-ikaja.com/

紙芝居ゼミナール プログラム

テーマ・対象作品

作品は全て童心社刊

6月 9日　ガイダンス

『おとうさん』
与田準一 脚本
田畑精一 絵

・『おとうさん』を題材にして、講座の目的・予習について・発表内容などを説明します。
・受講者全員に、自分の好きな紙芝居を１作品演じてもらいます。

7月21日　起承転結・構造

『ごきげんのわるい
コックさん』
まついのりこ 脚本・絵

『ふうちゃんのそり』
神沢利子 脚本
梅田俊作 絵

『でんしゃがくるよ』
とよたかずひこ 脚本・絵

『にじになったきつね』
川田百合子 脚本
藤田勝治 絵

『ロボットカミイ
ちびぞうのまき』
古田足日 脚本
田畑精一 絵

『太陽はどこからでるの』
チョン・ヒエウ 脚本・絵

9月22日　作品は何を語るか？・観客とのコミュニケーション

『おおきく おおきく
おおきくなあれ』
まついのりこ 脚本・絵

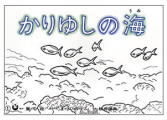
『たべられたやまんば』
松谷みよ子 脚本
二俣英五郎 絵

『おうさまさぶちゃん』
馬場のぼる 脚本・絵

『こねこのしろちゃん』
堀尾青史 脚本
和歌山静子 絵

『チンパンジーの
おんがくかい』
あべ弘士 脚本・絵

『二度と』
松井エイコ 脚本・絵
小川虎彦ほか 写真



『かりゆしの海』
まついのりこ 脚本・絵
横井謙典 写真

12月15日　紙芝居の絵とは？

『あひるのおうさま』
堀尾青史 脚本
田島征三 絵

『こぶたのまーち』
村山桂子 脚本
堀内誠一 絵

『ひよこちゃん』
チュコフスキー 原作
小林純一 脚本
二俣英五郎 絵

『天人のはごろも』
堀尾青史 脚本
丸木俊 絵

『おねぼうな
じゃがいもさん』
村山籌子 原作
村山知義 脚本・絵

『おかあさんのはなし』
稲庭桂子 脚本
いわさきちひろ 絵

『てんからおだんご』
高橋五山 原作
堀尾青史 脚本
金沢佑光 絵

※同じ作品を２名が実演する場合もあります

講座の流れ

予習（自宅）
・テーマに沿って作品の内容を考える（全作品）
・実演練習（担当作品）

→

演習（東京）
・実演 / 発表
・全員で話し合い作品を理解する

→

復習（自宅）
・テーマに沿ってレポート提出

テストはありませんが、事前学習はあります。

※詳細は受講者に別途連絡

●申込み方法 … 申込開始：2024 年 2 月 1 日

1．必要事項：連絡先（住所・氏名・電話・メール）、連続講座受講年を明記し、メールまたは郵送にて「紙芝居文化の会事務局」あてお申込みください。2 月 1 日以降、先着順に受付いたします。
2．電話及び FAX での受付はいたしません。
3．事務局より「受講受付」のお知らせと共に、受講料振込用の郵便振替用紙をお送りします。1 週間以内に送金ください。
4．4 月 1 日以降のキャンセルは返金できません。ご了承ください。

●申込み・問い合わせ先

「紙芝居文化の会事務局」
〒181-0001
東京都三鷹市井の頭 3-32-15-1F 寺小屋内
TEL & FAX:　0422-49-8990
Email: kamishibai@ybb.ne.jp
https://www.kamishibai-ikaja.com/